

(様式第2号)

事業所名:シエアハウス百花

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 5年 5月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	40	○食事を楽しむことのできる支援 利用者によっては配膳や後片付けを自分の仕事として担当してもらい、介護する側と介護される側の一方的な関係ではなく、一緒に行っていく姿勢を大事にしている。 一方で、時間の経過とともに、一緒に食事を作ったり、自分が食べるものを決めてもらうプロセスを省いていることも見受けられるので、今一度、利用者との食事作りを含めて食事を楽しむことに関して見直しを行っていく必要がある。	週に1回程度は利用者と一緒に食事を作ることができるようにする。	自炊型支援の実践 グループホームは家庭的な環境のもとで、利用者とスタッフの関係が支援する側とされる側の一方的な関係ではなく、「生活を共にする」という考え方に基づいて、食事作りを共に行っていく。 週に1回程度は利用者と一緒に作ることができるようにする。 具体的にいつ実施するのかを毎月、カンファレンスで協議して週に1回は実施していく。	12ヶ月
2	3	○事業所の力を活かした地域貢献 田園地帯だった事業所周辺も近年では住宅街になっており、道路にはゴミが落ちていることも多い。 コロナウイルスの懸念から、この3年は地域との関わりが希薄になっている現状がある。	日常の散歩のなかで、地域の方と挨拶をしたり話すきっかけをつくる。	事業所と地域の関わり 天気のいい日は利用者と事業所周辺を散歩することを日課にして、隣の外町保育園を行き場所にする。最近、事業所周辺は住宅街になってきており、ゴミが落ちている事も多いので、散歩を兼ねて利用者とゴミ拾いを行う。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。